

令和4年度社会福祉法人千代田町社会福祉協議会事業計画

1. 基本方針

近年の我が国の社会情勢は、高齢化の中で人口減少が進行する中、家庭環境やライフスタイルの変化、血縁・地縁・社縁などの共同体の機能低下等から生まれる社会的孤立、虐待、また気象変動等による自然災害への対応など、社会福祉を取り巻く環境や生活・福祉課題は多様化・複雑化しています。

また、新型コロナウイルス感染症の流行により、私たちの生活は一変し、社会経済活動の中断や縮小による倒産・解雇、所得減少等で、生活福祉資金特例貸付の申請には多くの方々が相談に訪れており、生活困窮者の急増についてはとても深刻です。

このような状況等を背景に、制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく地域共生社会の実現が求められています。

こうした中、本会では千代田町地域福祉計画と基本目標を一体化し策定した第2期地域福祉活動計画も3か年目を迎え、計画の基本理念である「心ふれあい 笑顔かがやく ともに築く 豊かなまち」の実現に向け、引き続き関係団体・機関と連携を密に図りながら、住み慣れた地域でだれもが安心して末永く生活ができるように、住民主体による地域福祉の推進に努め、コロナ禍においても感染状況等を鑑みながら、できることや求められることを真に受け止め、柔軟かつ迅速に対応してまいります。

2. 基本目標

- (1) 支え合いと交流の促進
- (2) 地域ネットワークの構築
- (3) 相談支援と福祉サービスの充実
- (4) 安心・安全のまちづくりの推進

3. 事業内容

(1) 法人運営事業

①理事会、評議員会、監事会、評議員選任・解任委員会の開催

適正な法人運営と組織・ガバナンスの強化、事業運営の透明性を図る。

②役員等合同視察研修の開催

役員等が連携を図りながら福祉課題等の認識を共有するため視察研修を行う。

③社協会員及び会費の拡充

社会福祉事業の自主財源増収に努める。

④苦情申出窓口業務（苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員を設置）

福祉サービスへの苦情を適切に解決するため、苦情申出窓口を設置する。

（２）相談事業

①心配ごと相談事業（年間６回偶数月）

身近な困りごとを解決するため、民生委員児童委員協議会や関係機関と連携を図り、相談所を開設する。

②群馬県ふくし総合相談事業（なんでも福祉相談員兼任配置）

地域住民の困りごとについて、対象を限定せずいったん受け止め、必要に応じて適切な支援先につなぎ地域内のネットワークを活用して困りごとに対応する。

（３）ボランティア活動の推進

①ボランティアセンターの充実

ボランティア活動の拠点として、ボランティアに関する相談、登録、紹介、連絡調整、情報収集・提供、ボランティア保険の受付、災害時のボランティア活動支援等を行う。

②福祉教育の推進

ア．福祉体験学習の推進

総合学習の支援のため、児童に対し、学校や地域の当事者・ボランティア・関係機関と連携を図りながら、社協出前型の様々な福祉体験学習プログラムを用いて、身体が不自由な方の生活や老いることについて理解を深め、自分たちにできることは何かについて一緒に学ぶ。

イ．福祉教育推進ネットワーク会議の開催

教育機関と社会福祉施設、本会が連携を図りながら、本町における地域での福祉教育の発展方法や福祉教育の基本的な推進方策の理解を深めることを目的に開催する。

ウ．小・中学生ふくし・ポスター作文コンクールの実施

次世代を担う子どもたちが福祉について考え、地域や社会生活において互いに支え合う「こころ」の大切さや社会福祉への理解、ボランティア活動への関心を深めるきっかけづくりを目的に、“ふくし”をテーマとしたポスター・作文コンクールを開催する。

③傾聴ボランティア活動の推進

地域社会において孤立しがちな人たちの話の聞き取り役となる「傾聴ボランティア」の必要性が高まっていることから、傾聴ボランティア実践者の技術の向上を図り、ともに支え合う地域づくりを推進し、傾聴ボランティアグループ「さくら会」の支援・育成を行う。

④講座等の開催

ア. 災害ボランティア養成講座

災害時に活動するボランティアの養成を目的に、災害ボランティアの役割等について学ぶ。

イ. 手話交流会

手話をはじめのきっかけづくりとして、聴覚障がいの方や手話通訳者との交流会を開催する。

ウ. 夏休みボランティアスクール

子どもたちの夏休みを利用して、社会福祉に対する理解と関心を高め、学年や学校を越えた仲間との出会いやつながり、そして将来のボランティア活動や福祉活動のきっかけとなることを願い、夏休みボランティアスクールを開催する。

(4) 高齢者、障がい者、子育て世代への地域福祉事業

①あんしん福祉サービス事業（高齢者、障がい者、子育て）

住民参加型在宅福祉サービスで、ゴミ出しや買物代行等を希望する利用会員（登録）に対し、1時間ワンコイン（500円）で協力会員（登録）が生活支援サービスを提供する。

②ふれあい買い物ツアー事業（高齢者）

概ね75歳以上のひとり暮らし及び高齢者のみ世帯の方で、自動車を所有していない等で日常の買い物に困っている方に対し、買い物ツアーを運行する。

③日常生活自立支援事業（高齢者、障がい者）（県社協受託事業）

認知症高齢者や知的障害者、精神障害者などで、判断能力が十分でない方が地域で安心して日常生活が過ごせるように、福祉サービスの利用手続きの援助や代行、各種支払い等を行い、生活を支援する。

④ふれあい・いきいきサロン事業（高齢者、子育て）

閉じこもりがちな高齢者等の交流や仲間づくりを進め、孤独感や不安感の解消及び介護予防等の促進を図り、地域の高齢者等をふれあいながら地域全体で支えあう「支えあいの地域づくり」を推進する。サロン運営費を助成し、傷害保険加入手続きやボランティア講師との連絡調整、情報交換会、活動PR等を行う。

⑤ひとり暮らし高齢者保養交流事業（高齢者）

孤立しがちなひとり暮らし高齢者を日帰りで観劇鑑賞会等へ招待し、社会的孤独感を和らげ、参加者同士のふれあいや交流を深めることを目的に実施する。

⑥障がい者親子ふれあい事業（障がい者）

療育手帳を所持する子を持つ家族が、行事に参加することで家族同士のふれあいや交流を深め、楽しい一日を過ごすことを目的に実施する。

⑦福祉機器貸付事業（高齢者、障がい者）

在宅の高齢者等に対し福祉用具（リクライニングベッド・車椅子）を貸付け、高齢者及びその家族の精神的、肉体的及び経済的負担を軽減するとともに在宅福祉の増進を図る。

⑧町内送迎事業（高齢者）

外出が困難な高齢者に対し、自宅から町内の外出先（医療機関や金融機関、役場等）までの送迎を支援することで、誰もが豊かで住みやすい地域社会づくりに資する。

⑨在宅介護用品購入費助成事業（高齢者、障がい者）

在宅の寝たきり高齢者等に対し、紙おむつ等の消耗介護用品購入代金を助成（年間1万円上限）することで、経済的負担を軽減するとともに在宅生活の支援を図る。

（5）生活困窮者への支援事業

①生活福祉資金（県社協受託事業）及びたすけあい金庫（小口資金）の貸付

町内に居住する低所得者に対して、経済的自立、生活意欲の助長及び福祉の増進を図ることを目的に、生活資金の貸付を行う。

②生活困窮者自立相談支援事業

失業等により経済的な悩みや生活上の困難を抱えた方に対し無料相談を行い、就労支援や生活支援を行う。

③フードバンクの利用支援

生活困窮者からの相談に応じ、関係団体等と連携しフードバンクの利用支援を行う。

（6）各種大会等の開催

①社会福祉大会

多くの関係者や町民が地域福祉活動への理解を深め、参画する機会とするとともに、これまで社会福祉の発展に功績のあった個人・団体を表彰し、感謝と敬意を表するため社会福祉大会を開催する。

②福祉スポーツ大会

高齢者及び障がいを持つ人たちが、スポーツを通じて楽しい1日を過ごし、健康の保持増進と地域間交流を深め、生きがいのある生活を送れるよう、福祉スポーツ大会を開催する。

③戦没者追悼式（町と共催）

戦没者の御霊を追悼し、恒久平和を祈念するため、町と共催で戦没者追悼式を開催する。

（7）広報事業

①機関紙「ちよだの福祉」の発行（年間6回偶数月）

事業の広報・啓発を図り、地域福祉に関する情報提供を行う。

②ホームページ等による情報発信

本会に関する組織や事業、最新の地域福祉に関する情報提供を行う。

(8) 奉仕銀行の運営（寄付金・寄付物品の受入）

町民や法人企業から寄せられる寄付金等の管理を行う。

(9) 福祉関係6団体の支援及び事務局業務

- ①ボランティア連絡協議会
- ②老人クラブ連絡協議会
- ③身障更生会
- ④療育父母の会
- ⑤母子会
- ⑥遺族会

(10) 共同募金事業（社会福祉法人群馬県共同募金会千代田町支会）

- ①共同募金運動の実施
 - ・赤い羽根共同募金（10月）
 - ・歳末たすけあい募金（12月）
- ②共同募金運営委員会の開催
- ③歳末たすけあい事業の実施
- ④小災害見舞金の贈呈
- ⑤災害義援金の受付

(11) 日本赤十字社事業（日本赤十字社群馬県支部千代田町分区）

- ①会員・会費の募集
- ②災害救援物資の贈呈
- ③弔慰金の贈呈
- ④災害義援金の受付
- ⑤救援金の受付

(12) 町受託事業

- ①老人福祉センター事業
- ②陽だまり交流館（児童館）・児童センター事業
- ③東・西学童保育所事業
- ④子育て支援拠点事業
- ⑤自立支援サービスセンター事業
- ⑥高齢者能力活用センター（シルバー人材センター）事業
- ⑦福祉車両（車椅子乗降）貸出事業
- ⑧手話奉仕員養成講習会の開催

(13) 調査研究

- ①事業継続計画（BCP）策定について
- ②社会福祉法人連絡会の設置・運営について

③成年後見制度について

④災害ボランティアセンターの設置運営等について

(14) その他、本会の目的達成のための事業

令和4年度社会福祉法人千代田町社会福祉協議会資金収支予算
令和4年4月1日

(単位：千円)

勘定科目		前年度当初予算額	今年度当初予算額	増減	
事業活動による収支	収入	会費収入	1,974	1,968	△ 6
		一般会費収入	1,490	1,490	0
		特別会費収入	400	400	0
		正会員会費収入	84	78	△ 6
		寄附金収入	2,203	2,004	△ 199
		経常経費寄附金収入	252	203	△ 49
		指定寄附金収入	1,951	1,801	△ 150
		経常経費補助金収入	69,769	65,696	△ 4,073
		都道府県補助金収入	0	9	9
		その他の補助金収入	0	9	9
		市区町村補助金収入	67,799	63,674	△ 4,125
		運営費補助金収入	66,771	62,509	△ 4,262
		事業費補助金収入	675	833	158
		ふれあいサロン補助金収入	323	323	0
		非課税世帯利用料補助金収入	30	0	△ 30
		その他の補助金収入	0	9	9
		共同募金配分金収入	1,970	2,013	43
		一般募金配分金収入	870	913	43
		歳末たすけあい配分金収入	1,100	1,100	0
		受託金収入	78,679	78,422	△ 257
		市区町村受託金収入	78,201	78,006	△ 195
		福祉センター受託金収入	15,632	13,591	△ 2,041
		児童センター受託金収入	6,379	6,655	276
		児童館受託金収入	6,509	7,307	798
		学童保育所受託金収入	23,908	24,940	1,032
		手話講習会受託金収入	220	220	0
		地域子育て支援受託金収入	5,425	5,881	456
		介護職員初任者研修受託金収入	130	0	△ 130
		自立支援サービスセンター受託金収入	10,104	5,711	△ 4,393
		介護予防受託金収入	4,928	8,400	3,472
		高齢者能力活用センター受託金収入	4,966	5,301	335
		都道府県社協受託金収入	478	416	△ 62
		生活福祉資金・ボラ活動保険事務費収入	78	66	△ 12
		日常生活自立支援事業受託金収入	400	350	△ 50
		貸付事業収入	300	300	0
		貸付事業等貸付金償還金収入	300	300	0
		事業収入	45,039	39,006	△ 6,033
		参加費収入	167	175	8
		利用料収入	42	25	△ 17
		売上収入	10	10	0
		利用会員利用料収入	120	96	△ 24
		シルバー作業収入	40,500	35,000	△ 5,500
		シルバー事務収入	4,200	3,700	△ 500
		受取利息配当金収入	24	22	△ 2
		受取利息配当金収入	24	22	△ 2
その他の収入	12	12	0		
雑収入	12	12	0		
雑収入	12	12	0		
事業活動収入計(1)	198,000	187,430	△ 10,570		
支出	人件費支出	114,826	111,537	△ 3,289	
	役員報酬支出	580	580	0	
	職員給料支出	30,360	30,772	412	
	職員賞与支出	10,396	10,212	△ 184	
	非常勤職員給与支出	54,607	50,064	△ 4,543	
	非常勤職員賞与支出	3,895	5,514	1,619	
	法定福利費支出	14,988	14,395	△ 593	

事業活動による収支	支出	事業費支出	55,707	49,951	△ 5,756
		給食費支出	3,810	3,744	△ 66
		介護用品費支出	648	0	△ 648
		医薬品費支出	20	54	34
		保健衛生費支出	58	199	141
		教養娯楽費支出	2,031	2,308	277
		本人支給金支出	38,000	32,000	△ 6,000
		燃料費支出	866	1,506	640
		消耗器具備品費支出	2,463	3,078	615
		業務委託費支出	1,629	1,714	85
		保険料支出	464	441	△ 23
		賃借料支出	2,031	1,089	△ 942
		車輛費支出	871	1,171	300
		大会費支出	1,717	1,713	△ 4
		式典費支出	227	225	△ 2
		講習会費支出	696	561	△ 135
		ボランティア活動費支出	1	1	0
		協力会員手数料支出	144	116	△ 28
		雑支出	31	31	0
		事務費支出	19,962	15,793	△ 4,169
		福利厚生費支出	613	579	△ 34
		旅費交通費支出	57	47	△ 10
		研修研究費支出	423	388	△ 35
		事務消耗品費支出	1,280	1,272	△ 8
		印刷製本費支出	490	323	△ 167
		燃料費支出	911	396	△ 515
		修繕費支出	509	536	27
		通信運搬費支出	1,362	1,186	△ 176
		会議費支出	128	123	△ 5
		広報費支出	1,288	1,288	0
		業務委託費支出	3,104	2,558	△ 546
		手数料支出	344	482	138
		保険料支出	1,090	1,032	△ 58
		賃借料支出	3,781	2,490	△ 1,291
		租税公課支出	800	826	26
		保守料支出	2,499	1,788	△ 711
		渉外費支出	142	138	△ 4
		諸会費支出	234	234	0
		地区活動費	94	94	0
		雑支出	813	13	△ 800
		貸付事業支出	300	300	0
		貸付事業等貸付金支出	300	300	0
		共同募金配分金事業費	1,690	1,720	30
		一般募金配分金事業費	590	620	30
		小地域配分	280	295	15
		ボランティア活動及び当事者団体活動支援配	30	30	0
		社会福祉協議会配分	280	295	15
歳末たすけあい配分金事業費	1,100	1,100	0		
助成金支出	2,258	2,743	485		
助成金支出	2,258	2,743	485		
その他の助成金支出	2,258	2,743	485		
事業活動支出計(2)	194,743	182,044	△ 12,699		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	3,257	5,386	2,129		
施設整備等による収支	収入				
		施設整備等収入計(4)	0	0	0
	支出	固定資産取得支出	0	321	321
		器具及び備品取得支出	0	321	321
		ファイナンス・リース債務の返済支出	3,972	4,669	697
		ファイナンス・リース債務の返済支出	3,972	4,669	697
施設整備等支出計(5)	3,972	4,990	1,018		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 3,972	△ 4,990	△ 1,018		

その他の活動による収支	収入	基金積立資産取崩収入	2,000	500	△ 1,500
		福祉基金積立資産取崩収入	2,000	500	△ 1,500
		拠点区分間繰入金収入	1,503	1,444	△ 59
		拠点区分間繰入金収入	1,503	1,444	△ 59
		その他の活動収入計(7)	3,503	1,944	△ 1,559
	支出	拠点区分間繰入金支出	1,503	1,444	△ 59
		拠点区分間繰入金支出	1,503	1,444	△ 59
		その他の活動による支出	2,893	2,942	49
		退職手当積立基金預け金支出	2,893	2,942	49
		その他の活動支出計(8)	4,396	4,386	△ 10
			その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 893	△ 2,442
		予備費支出(10)	1,590	1,640	50
		当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 3,198	△ 3,686	△ 488
		前期末支払資金残高(12)	3,198	3,686	488
		当期末支払資金残高(11)+(12)	0	0	0